

令和6年度 第1回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：令和6年6月28日（金）15時00分～16時50分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

参加者：別紙のとおり

司会進行：広報企画課長

1. 開会 広報企画課長

2. 委嘱状の交付

新委員へ委嘱状の交付

3. 役員の選出

会長 松尾市長

副会長 区長会 林様

監事 商工会議所 有森専務理事、都市計画課 岡様 で承認

4. 会長のあいさつ

5. 報告

(1) これまでの経緯について説明

(2) 循環バス、のりあいタクシー等の運行状況について

【事務局から(1)(2)を合わせて説明】

【質疑・応答】

松尾会長：北鹿島線の稼働率が低い理由と能古見線の稼働率が増加した理由を教えてください。

事務局：北鹿島線の稼働率が低い要因として、自家用車の利用がまだ多いためと考えられます。

能古見線の稼働率が増加した要因としては、廃止路線代替バスの補完として能古見線の利用可能範囲を拡大したことで、稼働率が増加したと考えられます。

(3) 令和6年度共創・MaaS実証プロジェクトについて

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

(4) 鹿島市地域公共交通会議設置要綱の改正について

(5) 鹿島市運賃協議会設置要綱の制定について

【事務局から(4)(5)を合わせて説明】

【質疑・応答】

委員A：補足ですけれども、道路運送法改正は、複数の運送事業者が同席する会議の中で運賃を決めることが、独禁法のカルテルに当たる恐れがあるという指摘が公正取引委員会の方からされたことをきっかけとして改正されたという背景がございます。運賃協議会での協議に関しては、実際に運行する事業者単独だけ個別で協議するという内容になっておりますので、複数の事業者は入ることができませんのでそれぞれ協議をしていただくというような流れとなっております。

(6) 浜地区での予約型のりあいタクシー実証運行について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員B：浜地区で利用者が伸びなかったというところで、お気づきの点があれば教えていただきたいというところと、実際に利用者の方がいらして、その利用者に対して今後本格運行しないっていうことに対して住民さん側から何かしらの反応があれば教えていただければと思います。

事務局：まだ自家用車の利用が多かったため、利用者数が伸びなかったのかなという印象です。

住民側からの反応ですが、浜地区の老人クラブ等で目標値に達しない場合は本格運行を見送るということを事前に説明をしていましたので、本格運行見送りは了承されているところです。

ただし、実際に利用された方もいらっしゃいますので、個別にアンケート・ヒアリングを行っていきたいと考えています。

(7) バス・タクシーの補完としての自家用車の活用について（佐賀運輸支局）

【佐賀運輸支局から説明】

【質疑・応答】

事務局：ライドシェアという言葉が独り歩きしていると思われしますので、再耕庵タクシー様にご意見をお伺いできればと思います。

委員C：とても難しい。

現在のタクシー稼働状況的には、丁度いいぐらい。

今のところ、ライドシェアの導入はまだないと思います。

引き続き、状況を見ながら検討していく必要があると思います。

6. 協議

(1) 鹿島市地域公共交通活性化協議会規約、鹿島市地域公共交通活性化協議会事務局規程の一部改正（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

(2) 暮らしを支える移動手段支援事業奨励金の申請（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員B：利用促進と利便性向上に取り組んでくださる市町を応援したいというところで奨励金を出させていただいています。

内容のところはまた持ち帰ってから再度ヒアリングさせていただきたいと思います。

承認

(3) 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

承認

(4) 令和6年度補正予算（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

(5) 令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

(6) 市内循環バス、高津原のりあいタクシー及び予約型のりあいタクシーの無料運行期間の実施(案)について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

承認

事務局：議事は終わりましたが、この協議会において可決された事項で、行政庁の指導等を含め、字句など軽微な修正が必要となった場合は、会長一任によりこれをなすことができるものとする付帯決議の承認をお願いします。

承認

7. その他

(次回開催予定) 令和6年11月開催予定

- ・地域公共交通の「リ・デザイン」に向けた制度等について

【佐賀運輸支局より説明】

【質疑・応答】

特になし

委員D：インバウンド等により、祐徳バスの利用者は2019年度比（コロナ禍前）でいくと95%ぐらいまで戻ってきている状況です。

また JR 九州と私どもと鹿島市で長崎本線利用促進のデジタルチケットを計画しております。

一応9月23日のスタート予定ですが、すいませんまだ詳細は決まってません。概要としては、かささぎのチケットに祐徳自動車の市内乗り放題と市内で利用できるクーポン券をセットに事業を検討している状況です。

その中でお話したのは、乗り放題は鹿島市内限定では、お客さんにとっては不便じゃないですかというので、今回太良町もそのエリアに入れるように提案して、太良町長さんにはご了解をいただいているところでございます。

事務局：鹿島市は今年市制施行70周年の年であります。

5月19日にはNHKのど自慢がございましたが、県内外から多くの方が来ていただきまして、大変賑わったところです。

その他スポーツとのコラボということで、佐賀ブルーナース応援ツアー等も行っております。今度9月23日には肥前鹿島駅前で、公共交通フェスタを開催予定で無料の巡回バスの体験、列車体験も行う予定です。

それともう一つが先ほどありました、特急かささぎのキャンペーンです。

今現在鹿島市の方では、特急かささぎを市民の方含め2名以上で利用された場合片道1人当たり1,000円の助成を行っているところです。

ぜひ特急かささぎの利用をお願いします。

8. 閉 会 広報企画課長